



# 新年あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

瀬戸会館職員一同

今年は、未(羊)年ですね。干支の由来についてですが、未の漢字の意味として「味」(み:あじ)であり、草木の果実がいよいよ熟し、丁度滋養溢れた状態になることを指しており、後に羊の字が当てられました。

また、羊はめでたい善良な動物であり、同じ行動をとって大勢で暮らすことから、群の漢字は羊からつくられました。



## 新居浜市瀬戸会館



〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7 - 3 0

Tel : 0897-41-5859 (Fax 兼用)

E-mail : seto@city.niihama.ehime.jp

**日 時**  
平成二十七年一月一日(日)  
時間：十時  
場所：瀬戸会館  
近所・お友達を誘って参加して下さい。

**2 部**として  
詩吟サークルさん  
社友会「歌こえ」さん  
による発表会があります

**人**  
権カルタをします

**今 月**の人権のつどい  
日は人権啓発指導員  
眞鍋慶子先生による  
眞鍋慶子先生による

年末大掃除には多くの  
方のご協力のもと瀬戸会館  
は美しくなりました。  
ありがとうございました。

## まちづくりにこそ部落解放の展望が開かれる！！

去る11月30日(日)午後1時より、県人对協・県企連合主催、瀬戸会館共催の青年対策部東予ブロック研修会が瀬戸会館で開催され、県人権対策協議会をはじめとして、地元公民館やまちづくり協議会、市議会議員、市職員関係者など50数名の参加がありました。

開会行事の後、瀬戸会館館長による「上水道組合の小史」と題した講演と本日のメインである大阪府箕面市、暮らしづくりネットワーク北芝から中嶋北芝支部支部長の「まちづくりにこそ部落解放の展望が開ける」と題した講演がありました。



阪神淡路大震災を契機として、差別のない開かれた地域コミュニティをめざした中で、10年計画が策定され、子どもからお年寄りまでを対象にした、さまざまな暮らしのサポートと人権文化の発信を行っている実践報告がパワーポイントを使って行われました。



……筆者の想い……

箕面市北芝部の活動は、これまで培ってきた活動ノウハウがあったからこそ、ここまでの事業展開が図られたのだろう。NPO法人の立ち上げをはじめとし、周辺地域を巻き込んだ事業の展開などによって、共に汗を流すことで生まれるもの、共通の経験をすることで生み出されるもの、その結果が部落解放につながるのではないかと感じました。

東予地区会長賞(一般の部)

虹に向け 妻のベッドの  
向きかえる

新居浜市 石井 和夫

ゆめじゅく会会員の石井和夫さんが平成26年11月11日に開催された「介護の日イベント 俳句大会」にて東予地区会長賞を受賞されました。晩年のご夫婦の細やかな愛情と至福のひとときがうかがえる一句です。

### 1月の主な行事予定

- ★移動図書館青い鳥号  
1月7日(水)・21日(水)  
14時～14時40分
- ★「人権のつどい」  
1月11日(日) 午前10時～  
第1部 人権カルタをしてみよう 講師 眞鍋 慶子  
第2部 ゆめ舞台(ゆめじゅくサークル発表会)
- ★絵本の読み聞かせ  
「さくらクラブ」泉川小学校放課後児童クラブ  
1月6日(火)・13日(火)
- ★回転木馬(瀬戸児童館)  
1月20日(火)  
10時30分～11時30分
- ★人権・同和教育関係行事  
・高等学校部会 1月14日(水)新居浜特別支援学校  
・小・中学校合同部会 1月19日(月)瀬戸会館  
・愛媛県高等学校教育研究会人権・同和教育部会  
1月27日(火)瀬戸会館  
・組織・企業部会 1月29日(木)市庁舎
- ★十人会・・・瀬戸会館(事務所開放)  
毎週木曜日 17時から19時まで



# 人権のつどい日

12月4日～10日は「人権週間」でしたが、1日遅れての11日（日）に開催された「人権のつどい日」は、人権啓発指導員の藤田利郎さんの進行で行われました。

人権って何？って問われたとき、難しくて近寄りがたいというイメージがあるかもしれないが、3歳の子どもたちにも人権があるように、人権とは、小さな子どもにも分かる易しいものでなくてはならないという。子どもも大人と同じ一人の人間ですね。

後半は、3班に分かれて「大切な遍路道」として、ある差別事象をテーマにワークショップを行いました。

何が問題点かを中心に話し合われた後、各グループからは意見発表を行い、それぞれ問題点が出されるなど、参加者は有意義な一時を過ごすことができました。



人権のつどい日の予定は、毎号「市政だより」「ゆめじゅくだより」に掲載しています。気になるプログラムがありましたら、お気軽にご参加ください。お待ちしております。

## ふれ 愛 フェスタ 新居浜



12月14日、市民文化センター中ホールで開演。ロビーで人権パネル展、人権擁護委員啓発コーナー、福祉施設等のバザーコーナーも開店されました。第1部 コンサート 新居浜市出身の珠季(たまき)さんが、元気な歌でプロ歌手デビューの夢にむかって前進！軽快なリズムに乗って、のりのりでアニメソングをメドレーで披露。



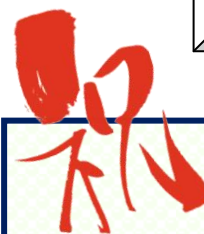
第2部 講演 俳優生活56年、悪役スター八名信夫さんが「誰にだって その人の“華”がある」の演題で華やかに語ってくれました。タバコを吸ってる中学生がいる。優しく論ずるが煙を吹き返す。最後はドスの利いた声で悪いことは悪い！周りの大人は誰も叱らなかった。子どもを愛情をもって叱る。子どもの人権は大人が守らないといけない。

カッコいい、正義の人でした。

## 差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう

第66回全国人権・同和教育研究大会が、高松市で開催されました。「子どもが語れば 大人が変わる～じぶんが好き、なかがが好き、ふるさとが好き～」の特別報告。熱い思いをもった仲間を支えられながら、部落差別は今もあるのか、子どもたちの生活とどうかかわっているのか、疑問にぶつかり、ムラに入る。入って見ないとわからないことがたくさんあり、自分から学ぼうとする意欲がないと何も見えないんだと感じる。その根底に、対等な一人の人間と人間としての関係が大切。本人、保護者、地域、学校の姿勢が大事。いかなる理由があろうとも差別する側が悪い。思っているだけでは駄目、行動しなくては！子どもたちが正しく学び本気で語っていく姿をみることで、大人は変わっていかねばならないし、大人が変えられているような気がする。一緒に闘う仲間をつかっていくためにも自分から発信したい。一人でも仲間を増やすことによって地域の人権感覚・意識の向上につながるのではないと思う。共に発信を続けていきたい。

特別分科会では、「笑顔で行こう～若者が語る部落問題～」をテーマにシンポジウム。被差別部落に生まれ自分らしく生きている青年が、被差別部落出身であることを自分の大切な部分として、着実に、柔軟に、豊かに人と人をつなげ、人を支援する活動に、そして同和教育を基軸とした人権教育を語り合う生き方、人間性あふれる想いに共感しました。



## 道場落成、おめでとうございます！！

### 新居浜瀬戸道院新道場落成記念演武会開催

12月14日、午前10時から執り行われた式典は、冷たい風が少々あったものの落成記念にふさわしく晴れやかな天候の中、道院会員の皆さんをはじめ、新道場建設でお世話になった同院関係者やOB・保護者の70名余りが参加して盛大に開催されました。

新道場は、立派な道場で真新しい白の床に赤と白を基調にした目を見張るばかりです。原英彦道院長のあいさつに始まり、いよいよ30名余りの子どもたちによる演武の会の始まりです。腰には白や黄色などの帯を締めた子どもたちの威勢の良い元気な声とともにきびきびした演舞の中にも緊張感漂う姿に感動を得ました。瀬戸道院は、これまで長い間、瀬戸会館を拠点に活動され、地域交流の重要な役目を果たされてきています。

これから後、当館での活動は限られた時間しかありませんが、今後益々のご活躍とご発展をお祈りいたします。落成、おめでとうございます。

